

熊本地震

被災された方々には
心よりお見舞い申し上げます

4月14日に熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震（前震）が発生し、熊本県益城町では震度7を観測しました。震度7は九州地方では初の観測だったそうです。

また、4月16日には同じく熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、益城町と西原村で震度7を観測しました。

その後も熊本県から大分県にかけて活断層沿いに地震が頻発し、広範囲で多くの被害が発生しました。現在も復旧活動は続いており、被災された方々は避難生活や復旧作業など大変な状況で生活されています。

錦江町による 支援活動



会計課前の義援金箱

■義援金

義援金箱を本庁と支所の会計窓口前に設置しました。お寄せいただいた義援金は、町社会福祉協議会から日本赤十字社に送られます。なお、自治会など団体でお寄せいただく場合には、本庁は総務課、支所は住民生活課にお持ちいただければ、領収書を発行のうえお預かりします。

■職員の派遣

東日本大震災のときと同じく大隅半島の4市5町の枠組みで被災地に職員を派遣し、復旧のお手伝いをします。

本町は他の5町と連携して御船町へ派遣し、給水活動などの支援活動を行います。

御船町は、震度7を観測した益城町に隣接しており、人口約1万7千人の町です。

職員の派遣は、今後の被災地の状況により支援内容や支援地域が変わることもありま



肝付町の給水活動の様子



肝付町の給水車



支援物資の様子 おむつ等



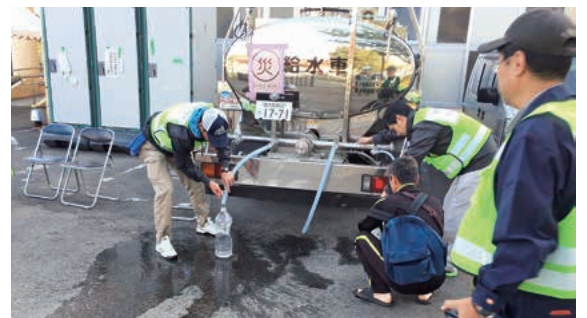
支援物資の様子 飲料等

息の長い支援を

熊本地震の被災地への支援物資の送付やボランティアでの支援の様子が、連日のように新聞やテレビなどで報道されています。

甚大な被害の様子から、復旧へは東日本大震災と同じく長い年月を要することが予想されます。

被災地のニーズを把握せず一方的に行う支援は、かえって負担をかけてしまうこともあります。町では、被災地と十分連携し、必要な支援を行います。



錦江町の給水活動の様子